

平成25年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成25年2月4日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 大

コード番号 9867

URL http://www.solekia.com/ (役職名) 代表取締役社長

代表者

(氏名) 小林 義和

問合せ先責任者(役職名)経理部長

(氏名) 宮崎 雅司

経常利益

百万円

Δ11 △259 TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日

平成25年2月8日

配当支払開始予定日

売上高

百万円

13,453

13,155

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

25年3月期第3四半期

24年3月期第3四半期

(%表示は、対前年同四半期増減率)					
	四半期糾	利益			
%	百万円	%			
_	△63	_			

△265

25年3月期第3四半期 △76百万円 (—%) (注)包括利益 24年3月期第3四半期 △291百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△6.76	_
24年3月期第3四半期	△28.11	<u> </u>

%

2.3

4.0

(2) 連結財政状態

(C) XC (C) (N) PX (V) (N)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,267	5,416	48.1
24年3月期	11,716	5,531	47.2

営業利益

百万円

△60

△278

(参考) 自己資本

25年3月期第3四半期 5,416百万円

24年3月期 5.531百万円

2. 配当の状況

10 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	年間配当金							
	第1四半期末							
	円 銭	円 銭	円銭	円銭	円銭			
24年3月期	_	_	_	4.00	4.00			
25年3月期	_	_	_					
25年3月期(予想)				4.00	4.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日~平成25年 3月31日)

$(0) \pm -1$	対前期増減率)
(%) AV JULIA .	

	売上	高	営業和	J益	経常和	川益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,000	6.3	240	_	240	l	100	_	10.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 有 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)25年3月期3Q10,169,610 株24年3月期10,169,610 株② 期末自己株式数25年3月期3Q724,819 株24年3月期722,128 株③ 期中平均株式数(四半期累計)25年3月期3Q9,445,833 株24年3月期3Q9,448,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1)連結経営成績に関する定性的情報	1
(2)連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1)四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期半ばまでは欧米経済の停滞とこれに伴う新興国経済の成長 鈍化などにより「弱い動き」となっておりましたが、後半になると米国や中国など海外景気の回復もあり、自動車 を始めとして生産に下げ止まりの兆しがみられたほか、個人消費も弱含みながら一部に底堅い動きがあり、年末以 降は円安傾向が顕著となるなど、景気回復への好材料も見られるようになってまいりました。

企業のICT投資につきましては、クラウド・コンピューティング、スマートフォン、タブレット端末などの市場拡大や社会の省エネルギー化・スマート化の進展、また新政権による景気刺激策への期待などもあり、企業マインドも上向いているとも言われますが、まだ本格的な回復には至っておりません。このような経営環境のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は、官公庁やデータセンター(IDC)向けハードウェアの受注が増加したほか医療機関向けソフトウェア商談も増加し、また保守サービスも堅調に推移したことから、売上高は134億53百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

損益面につきましては、前年同期のような不採算システム開発案件がなくなったことやサーバー、ソフトウェアの増収、フィールドサービスの伸長などにより、営業損失は前年同期に比べ2億18百万円改善の60百万円(前年同期は2億78百万円の営業損失)となり、経常損失は11百万円(前年同期は2億59百万円の経常損失)、四半期純損失は63百万円(前年同期は2億65百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、システムソリューション、フィールドサービス、サーバーの売上が増加しましたが、電子デバイスの需要低迷の他、情報機器も前年同期にあった大型商談の反動減により、売上高は73億89百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

損益面につきましては、前年同期のような不採算プロジェクトの影響がなくなったことに加え、サーバーの増収により、営業損失は前年同期より 1 億26百万円改善し、 1 億84百万円(前年同期は 3 億11百万円の営業損失)となりました。

「東日本」は、公共およびデータセンター向けハードウェア、フィールドサービスが増大し、売上高は33億48百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

損益面につきましては、売上が増加したこと、システム部門の効率改善、販売費及び一般管理費の減少により、 営業利益は1億17百万円(前年同期は47百万円の営業損失)となりました。

「西日本」は、車載用半導体が好調に推移しましたが、前期に大型案件によって大きく伸長した医療機関向けの 商談が減少し、売上高は25億79百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

損益面につきましては、売上の減少により、営業利益1億16百万円(前年同期比29.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億48百万円減少し、112億67百万円となりました。この主な要因は、商品が3億27百万円、仕掛品が1億56百万円、有形固定資産が98百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が10億95百万円減少し流動資産が5億92百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、3億33百万円減少し、58億50百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金が2億3百万円、退職給付引当金が51百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億14百万円減少し、54億16百万円となりました。その主な要因は、四半期純損失、剰余金の配当により利益剰余金が1億1百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、業績は概ね見込みどおりに推移しており、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想に変更はございません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
 - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
 - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
 - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 795, 941	3, 832, 573
受取手形及び売掛金	4, 717, 439	3, 622, 116
電子記録債権	99, 235	93, 011
商品	410, 893	738, 602
仕掛品	112, 271	268, 744
その他	276, 974	263, 893
貸倒引当金	△3, 596	$\triangle 2,058$
流動資産合計	9, 409, 159	8, 816, 883
固定資産		
有形固定資産	698, 833	796, 937
無形固定資産	115, 062	174, 972
投資その他の資産		
投資有価証券	319, 727	303, 767
敷金及び保証金	549, 461	555, 287
繰延税金資産	575, 377	540, 173
その他	53, 110	83, 510
貸倒引当金	△3, 919	$\triangle 3,547$
投資その他の資産合計	1, 493, 757	1, 479, 192
固定資産合計	2, 307, 654	2, 451, 101
資産合計	11, 716, 813	11, 267, 985
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 285, 003	2, 255, 813
短期借入金	1, 080, 000	1, 080, 000
未払法人税等	51, 487	8, 982
賞与引当金	299, 300	96, 299
受注損失引当金	12, 574	5, 330
その他	806, 205	822, 585
流動負債合計	4, 534, 571	4, 269, 011
固定負債		
退職給付引当金	1, 467, 337	1, 415, 865
役員退職慰労引当金	124, 398	104, 782
資産除去債務	58, 671	61, 328
固定負債合計	1, 650, 407	1, 581, 977
負債合計	6, 184, 979	5, 850, 988

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
純資産の部			
株主資本			
資本金	2, 293, 007	2, 293, 007	
資本剰余金	2, 359, 610	2, 359, 610	
利益剰余金	1, 005, 504	903, 907	
自己株式	<u>△</u> 137, 205	△137, 551	
株主資本合計	5, 520, 916	5, 418, 973	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	10, 917	8, 379	
為替換算調整勘定		△10, 356	
その他の包括利益累計額合計	10, 917	△1,977	
純資産合計	5, 531, 834	5, 416, 996	
負債純資産合計	11, 716, 813	11, 267, 985	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	13, 155, 085	13, 453, 914
売上原価	11, 033, 736	11, 116, 493
売上総利益	2, 121, 349	2, 337, 420
販売費及び一般管理費	2, 400, 241	2, 397, 843
営業損失 (△)	△278, 892	△60, 422
営業外収益		
受取利息	2, 567	2, 313
受取配当金	7, 152	6, 637
保険返戻金	_	32, 417
その他	18, 505	18, 050
営業外収益合計	28, 225	59, 418
営業外費用		
支払利息	7, 425	7, 223
支払保証料	1, 546	2, 465
その他	267	449
営業外費用合計	9, 240	10, 138
経常損失(△)	△259, 907	△11, 142
特別損失		
投資有価証券評価損	2, 492	18, 800
特別損失合計	2, 492	18, 800
税金等調整前四半期純損失 (△)	△262, 399	△29, 942
法人税、住民税及び事業税	19, 270	20, 270
法人税等調整額	△16, 081	13, 594
法人税等合計	3, 188	33, 864
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△265, 588	△63, 807
四半期純損失 (△)	△265, 588	△63, 807

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△) その他の包括利益	△265, 588	△63, 807
その他有価証券評価差額金	△26, 171	$\triangle 2,538$
為替換算調整勘定		△10, 356
その他の包括利益合計	△26, 171	△12, 894
四半期包括利益	△291 , 760	\triangle 76, 702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291, 760	\triangle 76, 702

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等
- I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	∧ ∌I.
	首都圏	東日本	西日本	計	(注)	合計
売上高						
外部顧客への売上高	7, 468, 892	2, 818, 412	2, 720, 306	13, 007, 610	147, 474	13, 155, 085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9, 522	3, 111	900	13, 534	159, 296	172, 831
計	7, 478, 415	2, 821, 524	2, 721, 206	13, 021, 145	306, 771	13, 327, 916
セグメント利益又は損失(△)	△311, 433	△47, 634	165, 739	△193, 329	△36, 165	△229, 495

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失 (△)	金額
報告セグメント計	△193, 329
「その他」の区分の利益	△36, 165
セグメント間取引消去	495
全社費用 (注)	△49, 893
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△278, 892

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	首都圏	東日本	西日本	計	(注)	口削
売上高						
外部顧客への売上高	7, 389, 182	3, 348, 695	2, 579, 061	13, 316, 939	136, 974	13, 453, 914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8, 441	3,600	900	12, 941	172, 484	185, 425
∄ +	7, 397, 623	3, 352, 295	2, 579, 961	13, 329, 881	309, 459	13, 639, 340
セグメント利益又は損失(△)	△184, 816	117, 124	116, 995	49, 303	△15, 892	33, 411

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	(十四・111)
利益又は損失 (△)	金額
報告セグメント計	49, 303
「その他」の区分の利益	△15, 892
セグメント間取引消去	1,000
全社費用 (注)	△94, 833
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△60, 422

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。